

産業委員会

市の経済文化部、農林部及び農業委員会の所管に属する事項に対応する委員会です。

◎近藤吉一郎 ○河本英敏 秋山幸則 川崎 修
庄司勝義 竹内邦彦 中島完一 森岡和雄

今期定例会で、当委員会に付託された議案八件を審査した。

議案第二百一十六号平成二十年
度一般会計第六次補正予算では、経済文化部に関して支所間バス運行補助金などについて、農林部に関して市有林整備事業委託料などについて質疑応答がなされたのち、全員一致で原案のとおり可決と決した。

議案第百六十三号平成二十年一



ごんごバス

一般会計第七次補正予算では、定額給付金の支給方法や職員体制等について質疑応答がなされ、全員一致で原案のとおり可決と決した。

議案第百五十五号平成二十一年度一般会計当初予算では、経済文化部に関して空き店舗対策補助金について、事業推進を図るため、状況によって補正予算を検討したいとの答弁があった。さらに出店者に対する十分な配慮を行うよう意見を付した。

農林部に関して鳥獣被害が耕作

放棄地につながる現状に対して農作物鳥獣害防止対策事業補助金の対象基準(三戸以上)の緩和を求め、鳥獣捕獲器購入補助により対応し、基準緩和は今後検討したいとの答弁があった。

生産調整推進事業では地域の転作達成の余剰部分の取引について、あるいは転作未達成地域に対するペナルティーについて質し、津山地域内で転作余剰部分の取引について研究したいとし、生産作付目標率は地域ごとに生産調整達成者と未達成者の率を区別しているとの答弁があった。さらに、過剰転作を従来から行っている地域への十分な対応を強く要望した。

里山エリア再生交付金事業では、市有林においてCO₂の取引等の事業を展開するべきと指摘し、CO₂取引は企業の自主的な参入を必要とするため加茂及び阿波地域において企業が活動できる森林を選定中であるとの答弁があった。

また、雇用の創出につながる森林再生への取り組みについては多角的に検討し、森林再生計画に専門的に携わる職員を雇用すべきとの指摘に対し、事業推進には岡山県や森林管理署と連携を密にし、最新の情報収集に努めるとともに、市有林や市行造林の間伐計画に携わる職員雇用について森林組合と協議したいとの答弁があった。その他、種々質疑や意見が出されたが、全員一致で原案のとおり可決と決した。

議案第百二十八号平成二十年
度食肉処理センター特別会計第一次補正予算、議案第百七号平成二十一年度食肉処理センター特別会計当初予算、議案第百四十八号津山市執行機関の付属機関設置条例の一部を改正する条例、議案第百六十号及び議案第百六十一号の工事請負変更契約については、いずれも採決の結果、全員一致で原案のとおり可決と決した。

政治家に対し、寄付を出すように勧誘や要求することは禁じられています。